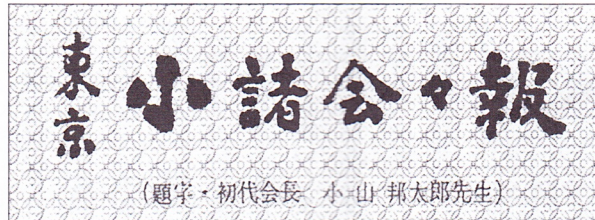


〔東京小諸会信条〕
 本会は、東京都及びその周辺に
 在住する小諸市出身者とその関係
 者をもって組織し、会員相互の親
 睦を厚くし、その向上と郷土の発
 展並びに社会文化に貢献する。



第42号
 発行日 平成30年11月10日
 編集・発行 東京小諸会

〒175-0094
 東京都板橋区成増2-32-15

渡辺静雄気付
 東京小諸会実行委員会

平成30年度 東京小諸会総会・懇親会を迎えて

東京小諸会 会長 渡辺 静雄



会員の皆様ご
 多用のところ、東
 京小諸会総会・懇
 親会にご出席頂き
 誠にありがとうございます

目的は、「会員相互の親睦を深め、その
 向上と郷土の発展並びに社会文化に貢
 献する」ことです。これからも会員の
 皆さんへ有意義な情報を提供したいと
 考えています。

座います。今年も小諸市からは、小泉
 俊博市長はじめ山岸喜昭長野県議会議
 員、林稔市議会議長、佐藤英人商工会
 議所副会頭、花岡 隆観光局理事長ほ
 かご関係の方々並びにご来賓の皆様にご
 出席頂き厚く御礼申し上げます。

東京小諸会は、昭和38年(1963

年)に当時参議院議員の小山邦太郎氏
 の呼掛けにより、87名の出席を得て設
 立総会が行われ、初代会長に小山邦太
 郎氏が選出され発足しました。以来、歴

代の会長、役員をはじめ多くの先輩方
 のご努力により現在は500余名の会
 員を擁するまでに発展して参りました。
 これからも更に会員の増員に努めると
 共に現在活躍している会員の発掘にも
 努め、伝統ある本会の発展に努力した
 いと思います。

お陰様で、今回56回目の総会・懇親
 会を迎えることができました。本会の

最近は変わりゆく小諸を実感してい
 ます。高地トレーニングの推進協議会
 も設立され世界を視野に入れたアス
 リートの育成・強化、大いに期待して
 います。地元からいずれオリンピック
 ク選手を出したいですね。
 小諸ふるさと遺産(市内に眠るお宝
 の掘起し)個人的には歴史ある小諸で
 貴重なお宝を有償、無償(貸与等)で
 提供して頂き、小諸お宝歴史館?で小
 諸の歴史を後世に伝えて欲しい。
 複合施設の完成が待たれます。市民
 の利便性は当然のこと、通路などの空
 きスペースを活用して地元の絵画・写
 真・工芸品などの展示をする空間が取
 れたら良いですね。市外からも利用者
 が増え核になる複合施設として発展し
 てゆくことを大いに期待します。
 小諸の農のブランド化、6次産業の
 育成も小泉市長のリーダーシップと市

民の協働に期待したい。今年も7月に
 市民まつり、健速神社の例祭、8月に第
 76回藤村忌に出席して参りました。9
 月初め7名の友人を懐古園へ案内した
 時、入口で坂の上小3年生の校外学習
 グループの30人程に出会いました。私
 も卒業生だと云つたら、先輩、先輩と
 持ち上げられ、5分時間を下さいと3
 人が誘導し、三の門の歴史の講義を受
 けました。皆さん明るく、活発で賢く
 見えました。嬉しい出会いでした。

私達もふるさと発展の為に何か出来
 ないでしょうか。「信州小諸ふるさと応
 援寄付」を提案します。インターネッ
 トからも受付が出来ます。今年は返礼
 品に「桃」が加わりました。皆さんの
 ご支援でふるさと小諸を元気にして頂
 けないでしょうか。

会員の皆様も各イベントに参加して
 ふるさと良さを再発見して頂き知人
 などを通じて観光客を誘導して頂けな
 いでしょうか。そして、信州小諸を皆
 さんに知って頂きたい。

その為には観光局も魅力ある小諸観
 光の姿を常に追求して頂きたい。観光
 スポットの整備「そば」に並ぶ美味し
 い創作料理の実現化、来訪者も車、電

総会・懇親会次第

- 一、開会の辞
- 一、会長挨拶
- 一、総会議事
 - ① 会務・会計報告
 - ② 監査報告
- 一、来賓紹介・祝辞
- 一、きらら会演奏会
- 一、懇親会
 - ① 開会の辞
 - ② 県歌斉唱
 - ③ 鏡開き
 - ④ 乾杯
 - ⑤ 開宴・歓談
- 歌・故郷斉唱
- 一、中締め
- 一、閉会の辞

来年の東京小諸会総会・懇親会は

十一月二日(土) 如水会館二階スターホールで開催します

車、高速バス、家族連れ、団体客、個人など多様なケースを想定したインフラ整備を期待したい。

来訪者は、宿泊、おみやげ、食事などは満足して頂いているでしょうか。

これからも上田、佐久、軽井沢などと連携を図りエリアで観光客を誘致する戦略も必要ではないでしょうか。

また、地産地消、一次産業育成充実、6次産業育成強化などが働く場の提供となり居住人口の増加にも繋がると考えます。まだまだやるべきことがいっぱい小諸にはあると思われまます。これからも市民参加で積極的に推進されることを願っております。私達も微力ながら応援したいと思っておりますのでよろしく願います。

終わりにりましたが、今年も総会・懇親会の開催に当り、小諸市、(株)香坂建設、常盤館・薬師館、コミー(株)三和シャッター工業(株)のぞみグループ(株)つるやホテル(株)コトブキ 中棚荘 布引温泉こもろ 大池リンゴ園(有) 丁子庵 高峰高原ホテル 小諸高原ゴルフクラブ 松実高等学院 松井農園 お人形さんめぐり実行委員会(株)三ツ和小諸そば事業部(株)大塚酒蔵 信州味噌(株)マンズワイン(株)サッポロビール(株)にご協賛頂きました。ご協賛頂いた皆様には厚く御礼申し上げますと共に間接的にはふるさと小諸を応援して頂いていると認識しております。会員の皆様にお願ひです、小諸へ行った時には、

ご協賛頂いている御礼と共に一声掛けてご利用頂けたらありがたいです。

「小諸に元氣と誇りを取りもどす」 —小諸市の将来を見据えて—



東京小諸会会報第42号の発行、誠にありがとうございます。

また、平成30年度総会・懇親会が、多くの会員の皆様ならびにご来賓各位のご出席のもと、盛大に開催されますこと、心よりお慶び申し上げます。

会員の皆様におかれましては、「ふるさと小諸」を離れ、それぞれの地において、お元氣で活躍されておられますことに、重ねてお慶びを申し上げますとともに、小諸市に対しまして平素より温かく力強いご支援とご協力を賜っておりますことに、この場をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。

早いもので、私が市民の皆様から託された市政経営4年間のうち、2年半が経過いたしました。この間、『市民の皆様の期待にお応えする』という強い使命感のもと、常に「小諸に元氣と誇りを取りもどす」ため、政策集「こもろ未来プロジェクト」を掲げ、

例年に倣い本会の役員有志の方々にもご協力頂きました改めて御礼申し上げます。

小諸市長 小泉 俊博

それを実行してまいりました。これまでの総会の中でも皆様に申し上げて参りました通り、かつては商都として栄え、歴史や文化の中心地であった小諸が、近年は元氣と誇りを失いつつあること、さらに急速な人口減少と超高齢社会へ突入しようとする中、このままでは小諸の活力が更に失われてしまふとの危機感を持っているからであります。おかげさまでもちまして、市民の皆様はじめ、東京小諸会の皆様を始めとする県外の皆様からも深いご理解とご協力を賜り、小諸に再び「元氣と誇り」が芽生え始めたことを実感しております。

小諸市では、目指すべき将来像として「住みたい行きたい帰ってきたいまち小諸」を掲げ、様々な分野で施策を推進しているところですが、今回はその一端を紹介させていただきます。

■高地トレーニングエリア拠点化へ向けて

小諸市には、国の重要文化財である小諸

城址懷古園「三の門」や「大手門」をはじめ、数多くの歴史・文化資源や豊かな自然が存在しておりますが、中でも、近年において特に脚光を浴びているのが、標高2000mに位置する高峰高原を、高地トレーニングエリアの拠点として活用する取り組みです。標高600m程度の市街地から、総合グラウンドや林道が位置する標高1000mの準高地、そして標高2000mの高峰高原まで、車で約30分以内で到達できるほか、年間晴天率が60%を超える恵まれた気象条件は、アスリートの高地トレーニング拠点としての大きなポテンシャルを秘めています。現在、小諸市・小諸商工会議所・JA佐久浅間・こもろ観光局・浅間南麓こもろ医療センター・民間企業等により組織する「小諸市エリア高地トレーニング推進協議会」を中心として、高地トレーニング環境の整備と、アスリートの合宿誘致に取り組んでおります。これまでに、全国レベルで活躍している高校や大学、実業団の駅伝や陸上チーム、さらに我が国を代表するトップアスリートの皆様にも合宿場所としてご利用いただいております。これら高地トレーニングエリアの拠点化は、小諸市の知名度向上や地元経済への寄与はもちろん、市民の健康増進・生涯スポーツの普及拡大のため、蓄積したデータやノウハウを活かしてまいります。

■小諸の観光をめぐる状況について

次に、小諸市の観光に関する最近の特徴的な状況について2点ほどお知らせしたいと思います。



標高2000mでの効果的なトレーニング

まず1点目は、一昨年11月に設立、昨年4月から本格営業を開始している「一般社団法人こもろ観光局」についてです。本年4月には、これまでの小諸市観光協会の事業を継承し、完全移行となりました。併せて、それまで観光庁が認定する日本版DMOの候補法人とされていたものが、本年7月には日本版DMO法人として観光庁から正式認定され、自治体単位の地域DMOとしては全国30法人の内の一つとなりました。更には、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、外国人旅行者の増加が予想されており、小諸宿の旧脇本陣を改修し宿泊施設（ゲストハウス）として活用するなど、小諸の持つ自然や歴

史文化、歴史的建造物を大きな武器として、増加する旅行者への対応も進めていくこととしております。そのための取り組みの一つとして、こもろ観光局では着地型旅行商品である体験プログラムの開発を積極的に進めており、その中でも市内の水地区に残る「氷風穴」は、昨年に小諸市で開催された「全国風穴サミット」等をきっかけとして、俄かに脚光を浴びております。明治時代からの日本の蚕糸業の発展に大いに貢献した歴史的な産業遺産であるとともに、実際にその場で冷気を体感することができることから、これまで埋もれていた小諸の新たな観光資源として注目しているところです。会員の皆様にも、ぜひ一度、あの冷気を実際に体験していただくことをお勧めします。

2点目は小諸の大切な観光資源の一つである「浅間山」についてです。平成27年6月に、ごく小規模な噴火があつて以降、浅間山の噴火警戒レベルが上がり、前掛山頂までの登山ができなくなっていたことから、登山者が大きく減少していました。しかし、本年8月30日、3年2か月ぶりに気象庁により噴火警戒レベルが2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）へと引き下げられ、前掛山頂までの登山が可能となりました。念願であつたレベル引き下げに、地元観光関係者は一様に安堵しているところであり、日本百名山に数えられる浅間山への登山を待ち望んでいた全国の登山

愛好者の皆さんに対して、しつかり情報発信を行い、多くの皆様が安全な登山を楽しまれ、雄大な浅間山の大自然を満喫していただきたいと思います。今後とも東京小諸会の皆様には、小諸市の観光振興にお力添えをいただきますよう、よろしくお願いいたします。



天然の冷蔵庫「氷風穴」



改修中の「小諸宿 旧脇本陣」

■全国から注目!

小諸市ふるさと応援寄附金事業

昨年度、小諸市に対するふるさと納税の寄附実績は、約9090万円でした。私が市長へ就任する前の平成27年度の寄附実績が6795千円であつたことから、13倍以上まで伸ばすことができました。その要因として、4品しか選択肢のなかった返礼品を季節限定品等も含め215品に増やし、魅力的な特産品を取り揃えたこと、寄附を受け付けるインターネットのポータルサイトを導入したことにより、全国から手軽に寄附できる仕組みを確立したこと、また寄附金の活用メニューを細分化することで、寄附者にとって寄附金の使い道を分かり易く提示したことにあると思います。

また、全国から注目されている取り組みとして、小諸市が運営する公営墓地「市営高峯聖地公園」合葬式墓地の永代使用権を、本年2月から、ふるさと納税の返礼品として登録しました。市営墓地（合葬墓）の使用権をふるさと納税の返礼品としたのは、小諸市が全国初であり、各種メディアに取り上げられた事もあり、実際に多くのお申込みをいただいております。また、今年度は、高齢者宅の見回りサービスや配食サービスなどふるさと納税本来の趣旨である「相手なを思いやる気持ち」を返礼品に登録する取り組みも実施しました。他方、本年6月の降電（ひょう）により被害を受けた電害りんごを「前向きりんご」と命名し、ふるさと

納税の返礼品として展開することで被災農家の支援にも取り組みました。

小諸市では引続き自主財源の確保と小諸の魅力発信を目的として、ふるさと納税を通じて小諸市の名産品、特産品を全国の皆様にお贈りし、小諸のファンを増やしていきたいと考えております。皆様からいただく寄附金の約半分が市に、約3割が市内の事業者の収入になることから三者それぞれにメリットがある仕組みとなっております。皆様におかれましても、是非、小諸市の名産・特産品を手にといただき、ふるさと小諸を思い出してくださいますと同時に「小諸愛」を新たにしていなければと考えております。

■「こもろを褒めよう運動」の拡大に向けて

私は市長就任以来、大小さまざまな団体から講演を依頼され、これまでの間に十数回行ってまいりました。

演題を自由に決めることができる際は、「小諸がイチバン!」と題して話をしております。これは、小諸には先人たちが遺してくれた歴史や文化、豊かな自然など多くの宝がありますが、今の小諸に暮らす人々は、それが当たり前と思ひ、地域資源の素晴らしさに気付いていないことが多いと感じています。そこで、機会あるごとに、私から市民の皆さんに願ひしていることがございます。それは、市民の皆様が日頃そ

れぞれ感じている、小諸の素晴らしいところ、誇れるところを、一つでも良いので周りの方に伝えて頂きたい、褒めて頂きたいということです。私は、これを「小諸を褒めよう運動」と名付けました。「隣の芝生は青く見える」と言うように、自分の暮らす地域を近隣の自治体と比較してしまいがちですが、小諸には他の地域には決して負けない、そして真似のできないような素晴らしい歴史や文化が、数多く遺されています。小諸に暮らす私達自身が、その魅力に気付く、無いことを嘆くのではなく、有るものを活かすという、プラスの発想へ転換しなくてはならないと感じています。自分たちの足元をもう一度見直し、一つでも二つでも小諸の良さを語れるようにしたいと考えておりますので、東京小諸会の皆様におかれましても、ぜひ小諸の誇れるところや素晴らしいところを、ご家族・ご友人へとお伝えいただき、多くの方々に小諸へお越し頂きますよう、ぜひお力をお貸し頂きたいと思ひます。

結びになりますが、皆様には「ふるさと小諸」への温かなご支援・御協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げますとともに、更なるご健勝と東京小諸会の限りないご発展を心からお祈りいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

■皆様へ

小諸市では引続き自主財源の確保と小諸の魅力発信を目的として、ふるさと納税を通じて小諸市の名産品、特産品を全国の皆様にお贈りし、小諸のファンを増やしていきたいと考えております。皆様からいただく寄附金の約半分が市に、約3割が市内の事業者の収入になることから三者それぞれにメリットがある仕組みとなっております。皆様におかれましても、是非、小諸市の名産・特産品を手にといただき、ふるさと小諸を思い出してくださいますと同時に「小諸愛」をあらたにしていなければと考えております。

●お問い合わせ先

お気軽にお問い合わせください。寄附に必要な書類などをお送りします。

小諸市役所企画課情報戦略推進係

TEL: 0267-122-11700

Mail: johoc@city.komoro.nagano.jp

担当: 栗原、山本



大手門

会員の最新本紹介

監修 牧野和人・制作 舟田 均

「小諸城と常在戦場」



(社) 小諸フィルムコミッション
電話 0267-123-0395
印刷 (株) プラルト
(平成27年10月発行)
本体価格 900円 (税込)

関ヶ原の戦いの最大の局地戦「第二次上田合戦・徳川軍対真田軍」の舞台となった小諸城。当時の状況及び小諸城の紹介、常在戦場の言葉の由来などを解りやすく簡単にまとめた冊子。

漫画 岩井 溪・監修 牧野和人
制作 舟田 均

「爽やかな風が吹く」

漫画 牧野康哉公物語



(社) 小諸フィルムコミッション
電話 0267-123-0395
印刷 (株) プラルト
(平成29年1月発行)
本体価格 900円 (税込)

幕末の名君と呼ばれた小諸城主牧野康哉は、既成概念にとらわれず領民のくらしを第一に藩政を改革した。その生涯を漫画で解りやすく紹介した冊子。

イラスト 岩井 溪・監修 牧野和人
編集 舟田 均

「小諸人物伝ガイドブック」



(社) 小諸フィルムコミッション
電話 0267-123-0395
印刷 (株) プラルト
(平成30年1月発行)
本体価格 900円 (税込)

小諸ゆかりの人物をイラストで紹介。文化人、芸術家、教育家、実業家、政治家そして武将に名君、様々な歴史的人物が小諸を舞台に活躍しました。そんな郷土の偉人を解りやすく伝えるガイドブック。

マラウイと日本の架け橋として

駐マラウイ大使 柳沢香枝（大久保）



柳沢さんは大久保のご出身。上田高校を出て、東京外国語大学で中国語を学んだ後、国際協力機構（JICA）に入り、25才で念願の中国勤務が実現。ユーラシア大陸が主な仕事の場だったが、同機構理事を最後に大使に転身された。

アフリカ南部のマラウイ共和国で2016年12月から大使を務めている柳沢香枝さんにマラウイを紹介していただきました。

アフリカと聞いて、皆さんはどんな風景を想像するでしょうか？ ゴリラが住むジャングルでしょうか？ それともライオンやキリンが生息するサバンナでしょうか？



中学校女子寮建設

か？ 実はアフリカ大陸は、アメリカ、中国、インドの3か国の合計よりも広く、その自然も様々です。その中で、最も緑が豊富で、気候が穏やかなのが、今私が住んでいるマラウイやその周辺の国々です。

特に首都のリロングウェは標高1100メートルの高地にあるため、真夏でも夜になると涼しく、小諸の夏を思わせます。国土の1/4を占めるマラウイ湖や、どこまでも続く丘陵や山々は、本当に美しく、何度見ても飽きることがありません。マラウイは1964年の独立以来、一度も内戦を経験していない平和な国家でもあります。人々の気性も穏やかで、道行く人々が挨拶を欠かさず、年長者を敬う文化は、昔の日本を思い出させます。

しかし、マラウイが最貧国であることも事実です。海に面していない内陸国で、鉱物資源もないため、農業が主要な産業ですが、灌漑整備が進んでいないので、作柄は

天候に大きく影響されます。急激な人口増加に伴う学校や教員の不足、慢性的な電力不足、エネルギー源を求めての森林破壊など、問題が山積しており、どこから手をつければ良いのかわからないほどです。

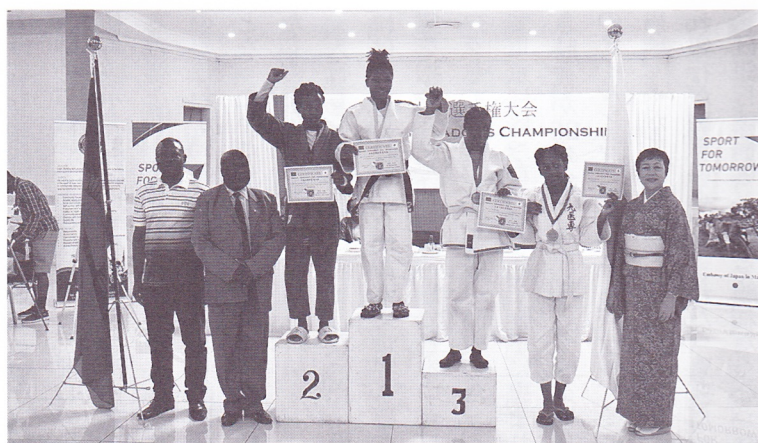
そんなマラウイですが、留学や研修のために訪日するマラウイ人達は、「真面目でよく勉強する」ということで、概ね評判が良いようです。彼らの中には帰国後、お金もモノも不足している中でも、日本で学んだことを実践に移している人たちが何人もいて、勇気づけられます。

そしてまた、マラウイの社会に溶け込み、マラウイの人々の自立のために自分が何ができるか真剣に考えている日本の青年海外協力隊員達も、「日本の若者もまだまだ捨てたものではない」と思わせる存在です。上田市出身で私の高校の後輩の樋村淳平さんもその一人です。勤務先の企業を休職して青年海外協力隊に参加した樋村さんは、マラウイの農村での経験を活かし、元の職場で益々活躍していると確信しています。

日本とマラウイとの関係は、これまでのところ、マラウイの発展を支援するための政府間の協力が主でした。しかしマラウイの発展のためには、企業による貿易や投資が欠かせません。日本大使館としては、多くの日本企業にマラウイに関心を持っていただき、また多くの日本の方にマラウイを訪れていただけるよう、広報に努めています。

す。また、マラウイでの柔道、剣道、空手の普及や、日本文化の紹介も、大使館が力をいれている事業の一つです。私も、外務省出身ではない「素人大使」ながら、日本の顔に恥じない活動をしなければと、日々励んでおります。（大使館の活動はフェイスブックでも公開していますので、ご興味がある方はぜひご覧ください。）

皆様も、マラウイにいらつしやいませんか？ 心より歓迎いたします。



日本大使杯柔道大会

坂の街 小諸の思い出

東京小諸会理事 神津久幸（鶴巻）



（1）小松湯

与良と荒町の境に麴屋があった。今は無い。銭湯の小松湯を出て石原町のなだらかな坂を下る。右側には水路がさらさらと流れている。

「朝鮮は今戦争してるんだ」

兄ちゃんがいった。「ふーん」と私、戦争なんてどんなものか知らないけれどまるで知っているかのようにつぶやいていた。野岸小学校1年のときである。はるか遠くでドカン、ドカンと大砲の響きが聞こえたような気がしたが、その時感じたのかは覚えていない。

やがて水路が道の下をくぐりぬけ今度は左に走る。兄ちゃんと二人で指に吊るしていた二尺半ほどの手拭いがコチンコチンに凍り、棒になっていた。まもなく鶴巻の四つ角にでた。右角の家の和菓子屋が生家だ。遡ること7年前 昭和20年2月28日の寒い朝に生まれた。

（2）小諸保育園でのできごと

戦後間もなくして砂糖も手に入るようになった父は和菓子屋を再開していた。

お店には売り物のキャラメル、チョコレー、飴、饅頭、羊羹など山ほど。

父母の目を盗んでは近所の子にあげた。

皆甘いもの欲しさに直ぐ子分になり、私はガキ大将になった。

小諸保育園への道である、店前に4〜5人が集まり朝8時には集団登園だ。鶴巻を赤坂へ向かい、銀座堂へ出て荒町を左に下る。数丁の距離を1時間ほどのトボトボ歩きで荒町のはずれにある光岳寺に着く。山門は小諸城にあった足柄門を移築したもので、この寺の中に保育園があった。

年長のある日、保育園へ行くのが嫌になり悪知恵を働かせた。いつもどおり、朝8時には集団で出て2時間あまり、保育園へは行かずに近所をぶらぶらした。赤坂に水路があった。そこに弁当の中味を捨てさせた。

「このことはいうな。今日は保育園が昼迄だったと言え。そんで空の弁当箱を見せろ」皆が従って、てんでに遊び、帰っていった。翌日、弁当を捨てている処を見た人がいて悪ガキの一人の母親に告げた。命令したのは私だとばれた。戦後6年 麦飯や米が貴重るとき、「ばかもん!」。母からこっぴどく叱られ地下に入れられた。

（3）沢の家

野岸小学校3〜5年頃、父が耕していた

小諸療養所の畑では蕎麦の実が採れた。

母に云われ、いつも年末が近づくと蕎麦の実を挽いてもらいに水車小屋の婆ちゃんの家へ持っていった。与良を左に折れ坂を上がり、お地藏さんの横を右に沢沿いに行く。水車が動いていた。「ごっとな ごっとな」耳に残る。

次の日 婆ちゃんの小屋へ貰いにいった。婆ちゃんは キンさん、ギンさんの キンさんの様に顔がクシヤクシヤだった。お茶を入れてくれて、手のおてしよに野沢菜の漬物をのせてくれた。婆ちゃんが水車で挽き、打ってくれた蕎麦を持ち帰る。師走から正月は蕎麦ばかり、美味いと思ったことはない。ただ婆ちゃんの笑顔は忘れない。

やがて、高浜虚子の小諸雑記を読んだ。思ひ出は私にも重なる。虚子と同じ婆ちゃんに蕎麦を打ってもらったと思うと元気になる。

（4）東京・大分・東京

「貧乏人は麦を食え!」池田総理の所得倍增論に導かれ日本に道筋ができた。希望に溢れていた。東京オリンピックを翌年に控えた昭和38年私は高校を卒業し東京新宿へ出た。

その後、学校を出て勤めたのは銀行だった。証券市場の活性度を計る重要な指標に東証株価指数「TOPIX」という項目がある。

この指標は43年1月4日の一部上場会社の全ての株価の平均価格を100とし、現在の一部上場会社の平均価格の割合を表しているもの。例えば1700という指数は当時の17倍の平均株価のこと。前日の比較値も表示され経済や証券市場の活性化を計る重要な判断指数となっている。つまりこの年はわが国の成長が右肩上がりの出発点となった年とも云える。最高の年に就職したものだ。

入行して大阪支店に配属となった。翌年にはアポロ11号の月面着陸で世界も夢や希望を抱いていた。大阪万博で日本中がワクワクしていた。私も大阪を満喫した。やがて東京に戻った。家を建て妻子に恵まれ良き時代が26年続いた。ドルショックや2度のオイルショックを経て平成バブル、そして崩壊、やがて不良債権を抱えていると云われ銀行が破綻に追い込まれた。悪夢だった。私は銀行破綻後、東京を離れたくなった。

平成14年2月大分へ向かった。歳は57歳1〜2年したら戻ろうか思案していたある日、市内の飲み屋の掛け軸に気を留める。

「わきめもふらで急ぎ行く」

君の行方はいづこぞや

琴花酒のあるものを

とどまりたまへ旅人よ」

島崎藤村の若菜集の一節だ。心を鷲掴みにされた。私は暫らくの間、大分に住むことを決めた。藤村を通して小諸との縁を感じたものだ。12年間を大分で過ごし東京へ戻った。

「無沙汰していた小諸だが、東京に戻ってからは毎年、春夏秋冬には訪ねる。」

野岸小学校や東中の同窓会も開いてくれた。懐かしさに顔もほころぶ。私の散歩には定番コースが3つある。

一つ目は鶴巻の実家から赤坂を経て銀座堂を左に曲がる荒町、本町コース。光岳寺の入口にある足柄門から小諸保育園の跡地を見て、本町を下る。北国街道はロマンのみちだ。古くは前田のお殿様を通り、江戸、明治、大正、昭和にわたり酢久や柳田茂十郎や大和屋などの大商人をはじめ北信越の商の原点といわれた道をゆく。

二つ目は石原町を上り与良を追分方面に出て高浜虚子記念館の裏手から沢の家へ向かい水車小屋の跡地を眺める。婆ちゃんと蕎麦が今に蘇る。

郷愁

冒頭から自慢めいた話でおこがましいのですが、昨年、上田女子短期大学と上田西高等学校が共催する第三回「うえた七夕文学賞」(俳句の部)に応募し、思いがけず入選しました。俳句の部の選考委員は高浜虚子の孫で、鎌倉虚子立子記念館代表の星野椿氏です。星野氏は戦時中、虚子一家と与良の小山家に疎開されていたことがあり、小諸にも縁がある人です。

三つ目は実家の軽トラを借りての浅間山荘へのドライブだ。でこぼこした山道が助手席に乗る孫のお気に入りだ。天皇陛下や美智子さまや、来年の5月には天皇となられる皇太子殿下のお手植の木もある。可愛いワンちゃんが出迎えてくれる。

浅間山荘から高峰へ上る。車坂や高峰や黒斑、浅間山は威風堂々。高峰高原から下る帰り道から眺める小諸のまちは穏やかだ。

歴史と文化と自然と人の情に恵まれた街。幾つになっても私のゆりかご。再びの東京オリンピックや大阪万博。癒しの街は蘇る。あせらずに あせらずに 東京に住むが心の居場所はやはり小諸だ。

高橋宗雄(耳取)



入選した句は、「風鈴の音色に思う幼き日」という、幼かった頃への郷愁を詠んだものです。風鈴の音色は、私にとって幼い頃の原風景を思い出させるものの一つであり、お盆のお参りに家内の実家に行った時、家の軒下に掛けてあった風鈴の音色に、古き良き時代への郷愁を感じて句にしたのですが、近頃は風鈴に限らず、ふとした折に田舎の原風景を思い出すことが多くなりま

した。それを思い出すままに綴ってみたいと思います。

春の彼岸の頃になると、川岸に芽吹くねこやなぎが柔らかな銀色に輝き、校庭の梅や桜のつぼみもふくらんで、まさに童謡「どこかで春が」の情景を彷彿とさせる季節が訪れます。北の浅間山や南の八ヶ岳連峰に残雪があっても、暖かい日が続くと田んぼの畔に雑草が芽吹き、「せんげ」(田んぼの水を引くための水路)の土手には露の臺が顔を出します。

秋も情緒があつてよいのですが、幼かった頃は春が待ち遠しかった分、早春の情景の方が好きでした。今は花粉症に悩まされる季節となつてしまいましたが……。

長い冬の農閑期が終わると、いよいよ稲作の苗代作りが始まります。我が家では、自宅に近い田んぼに苗代を作り、早苗を育てました。田植えをする前に、田んぼの土を起こして細かくし、堆肥を撒いて水を入れ、田んぼの表面を平らにするため代掻きをするのですが、牛に馬鍬を引かせて行う代掻きの光景は、どこか牧歌的な感じがしました。田植えは、家族だけでは手が足りないの

張ると、それがおいしくて、腰の痛さも忘れてしまったものです。

田植えが済むと、それを待っていたかのようにあちこちの田んぼで蛙が一斉に鳴き出し、今でも蛙の鳴き声を聞くと、青田の美しさが目に浮かびます。

端午の節句は、一か月遅れの六月初めに、我が家では武者のほりや家紋を染めたのほりを竹竿にかけて飾りました。よもぎを摘んできて草餅を作り、焚き口のある木造りの風呂桶に菖蒲を入れて菖蒲湯を焚きました。風呂の中で菖蒲を腰や腹などにあててしごとく、キーキーという音がして腹の虫が切れると何回もしごいたものです。菖蒲湯のこころ安らぐ香りも忘れられません。

七月に入ると、養蚕が始まります。養蚕は農家にとって稲作と並ぶ収入源であり、ほとんどの家でお蚕さんを飼っていました。お蚕さんは、自宅の部屋の畳を取り払い、隙間を新聞紙で目張りして蚕室をつくり、火鉢で蚕室を暖めながら、卵から孵化した稚蚕に桑を与えて育てました。

お蚕さんに桑を与えていくと、一眠、二眠と脱皮していきます。四眠の脱皮後は、桑を与える回数が多くなるので、桑取りが忙しくなります。暑い夏の炎天下、雷が鳴って夕立が来そうになると、急いでリヤカーを引いて桑畑に行き、桑株から鎌で枝葉を

切り取り、家に持ち帰りました。稲妻が走
る中、鎌に雷が落ちてこないか、とても怖
い思いをしたものです。

夏蚕（なつこ）の飼育は八月の中旬まで
続き、お盆までは寝る暇もないほどの忙し
さでした。しかし、繭を無事出荷してお盆
様を迎えられた時は、子供の自分にも開放
感と充実感がありました。

毎年お盆の十五日には、小学校の校庭で
野球大会（盆野球）が行われました。父が野
球好きだったので、よくいっしょに見に行
き、アイスクャンデーを食べながら観戦し
たものです。キャンデー屋さんが、白、赤
黄など色とりどりのアイスクャンデーを自
転車の荷台に積んで売っていて、たしか一
本五円だったと思います。

一度、選手として盆野球に出場したこと
がありますが、まったくヒットが打てず散々
だったことを覚えています。

夏休みには友達と千曲川に行き、「もっこ
ふんどし」をつけて泳いだり、浅瀬で石の
下に隠れているハヤを素手で捕まえたりし
て遊びました。

父が、釣りが趣味だったので、父の釣り
に同行することもありました。父は、夏の
暑い日の夕方や土曜日に、勤めから帰って
くると、釣り竿と釣り籠を持って千曲川に
行き、ジンケンの流し釣りを楽しんでいま
した。釣り方は、毛バリを使った簡単な方

法で、釣り竿の先に五、六個の毛バリをつ
けた釣り糸を、川の浅瀬に投げて岸まで流
し、それを繰り返しながらジンケンが毛バ
リにかかるのを待つというものでした。注
意して見ていると、浅瀬でジンケンがキラ
キラ光っているのが見え、毛ばりに食いつ
く瞬間もわかりました。ジンケンの色鮮や
かな模様が印象に残っています。

釣れたジンケンは、腸わたを出し唐揚げ
にして食べましたが、川魚特有のにおいが
あり、そのうえ小骨が多くて、あまり好き
ではありませんでした。

ひぐらしの鳴き声が聞こえなくなり、秋
が深まってくると、コウロギやスズムシが
庭の草むらで鳴き始め、「草むらにすく虫
の音秋深し」（第三回うえた七夕文学賞俳句
の部応募作）の句に詠んだような、虫の音
の競演が繰り返れます。近くの畑では
紅玉が色づき、柿の実もたわわに実り、栗
の木が大きな実をつけ、野山に自生するあ
けび、山ぶどうも熟する時を知り、収穫の
秋が訪れます。

田んぼの稲穂も黄金色に輝き、重たく垂
れ下がって、稲刈りを待つばかりとなりま
す。どこの家でも秋晴れが続くと稲刈りを
始めました。稲刈りは、中腰で長時間やっ
ていると腰が痛くなってくるし、稲の枯れ葉
が身体に突き刺さってチクチクするし、大
変な作業でした。刈り取った稲は、「はぜ」
に掛けて一ヶ月くらい自然乾燥させてから、

稲こきをしました。

稲こきは、足踏み式の脱穀機で数日かか
りましたが、動力式の脱穀機を所有してい
る知り合いに頼んでからは、一日で終わる
ようになりました。脱穀した稲束を一抱え
くらいの大きさに束ねて積み上げる作業を
手伝いながら、稲束で狭い空間を作って遊
んだものです。子供の頃は、隠れ場所とい
うか、狭いところが好きでした。

秋の採り入れが終わると、冬が足早にやっ
てきます。朝、学校に通う時、吐く息が白
くなるのもこの頃です。少し早く学校に行
き、授業前に男子と女子がいっしょにドッ
ジボールで遊んだのが懐かしく思い出され
ます。

ストーブ当番というのがあって、当番に
なると家から豆がらや木の小枝などを持っ
ていき、石炭ストーブを焚きつけなければ
なりません。これを忘れたことがあり、家
に豆がらを取りに帰った苦い思い出があり
ます。

暮れも押し迫ると、お年取りやお正月を
迎える準備が始まります。毎年二八日には、
朝四時に起きて家族で餅つきを行い、子供
え餅やあんころ餅を作りました。正月用品
の買い出しに、家族で小諸の町の魚屋へ出
かけ、酢だこ、ちくわ、昆布、にしんなど
を買い整えました。新巻鮭は東京の叔父が
お歳暮に送ってくれました。昔の塩鮭は、今

のものと比べて、おいしかったように思い
ます。

正月飾りは、一夜飾りを避けて三十日に
行いました。山から松の枝を切ってきて、
それを門松にして木戸に飾り、神棚、玄関
家の柱、松の木などにごぼう締めを飾りま
した。ごぼう締めに付ける紙垂は二十一個、
御神酒徳利に挿す神酒口は、大五個、中一
個、小二個それぞれ作ったと思います。

母は、大晦日の二、三日前からお節料理
を作り始め、大晦日には神棚に御神酒と年
取り膳を供え、家族揃って年取り魚の鮭で
お年取りを祝いました。

元日には朝早く起きて、井戸から若水を
汲んで神棚にあげ、門松に結び付けた、前
の年の稲藁で編んだお椀に、お節料理を供
えました。

元日の午前中に、一族間で互いに新年の
挨拶回りをする風習があり、午後には獅子
舞が各家にやって来ました。獅子舞は、三年
生以上の小学生が役割を分担して舞い、五
年生が頭だったと思います。獅子舞を舞つ
た後に、当時の金額で千円もご祝儀をくれ
る人もいました。もらったご祝儀は皆で分
け合い、ちょっとした小遣い稼ぎになりま
した。

正月三が日が過ぎた四日の朝には、「お棚
おろし」と言って、神棚や門松に供えたお
節料理を、おじやにいただきました。

七草の節句の頃に、五穀豊穡を願って、米粉で作った稲の花や繭玉を柳の枝に刺して、鴨居などに飾った記憶があります。小正月に、門松、ごぼう締め、書き初めを道祖神のところに持ち寄ってどんどん焼きを行い、その火で稲の花や繭玉を柳の枝に刺したまま焼いて食べたこともあります。どんどん焼きの灰を母屋と離れのまわりに「へびもむかでもどうけどけ」と、おまじないを唱えながら撒いたことも覚えています。

立春を過ぎると、太陽の光が暖かく感じられるようになります。雪が降った翌朝の辺り一面の銀世界の目映さと、屋根に積

心のふるさと 小諸

今年4月中旬、「布引温泉こもろ」で旧大里村中学校のクラス会に参加しました。ホテルから浅間連峰が一望でき、悠々と流れる千曲川を眼下に見ながら、幼い頃の思い出が走馬灯のように浮かんで参りました。

小学校の頃、夏休みには兄貴や、近所の友人達と千曲川に行き、泳いだり、魚を採ったり、祇園祭やえびす講などに、おふくろにもらったお小遣いで本町や相生町を歩き回り、あめ玉やお菓子を買って帰ったことが楽しい思い出です。

もった雪が朝日で解けてリズムカルに落ちる音は、今でも忘れられません。

桃の節句を過ぎても雪が残り、寒さは厳しかったですが、春は確実に近づいている気がしました。学芸会もこの頃であり、机と椅子を教室の後方に移し、ストーブのまわりに集まって練習に励んだのが懐かしく思い出されます。

思い出すままに、一個人の思い出を記しました。何しろ、六十年以上も前のことなので、あやふやなところがあるかもしれませんが、何か感じていただけることがあれば幸いです。

白鳥和臣（西原）



中学校時代には、大里中学の野球部に入っており、当時の小諸西中との親善試合で試合には負けましたが、西中の神津投手からセンター前へヒットを打ったことが今でも誇らしい思い出です。神津投手は後に上田松尾高校へ進み、夏の全国高校野球の長野県代表として甲子園に出場し、平安高校を破り、ベスト8に残った投手でした。

高校時代には小諸駅前にあった、「かめや」の天ぷらうどんを食べて、家に帰ったことが昨日のように思い出されます。生まれて

から高校卒業までの小諸の思い出は、今でも忘れることのできない、人生の心の支えになっております。

大学に入学してからは、クラスの仲間達を小諸に誘い、懐古園や布引観音等を案内して喜んでもらいました。夏休みに長崎へ帰らない長崎の友人からは、信州でどこかアルバイト出来ないかと頼まれ、父親の紹介で軽井沢のグリーンホテルの洗濯や皿洗いを紹介しました。アルバイトが終了すると、小諸の私の実家に泊まって満足して帰りました。また別の友人は高峰高原スキー場に来たついでに私の実家に宿泊して帰って行きました。

社会人になってからは会社の仲間と貸し切りバスで、菱野温泉の常盤館へ宿泊し、懐古園、布引温泉、別所温泉や上田城を案内しました。

現在、さいたま市に住んでおりますが、大学の同窓会「大宮稲門会」の仲間を小諸に案内したことがあります。全国津々浦々から集まってきた人達ですが大変喜んでもらいました。今でもその仲間と酒を飲む機会がありますが、小諸の話になると、必ず盛り上がります。

今年8月、長女夫妻と孫達を連れ、私の両親の墓参りを兼ねて小諸へ行き、浅間山

登山口の「天狗温泉浅間山荘」に宿泊しました。宿の温泉はかけ流し、弱酸性で肌によさしい、日本一赤い湯で有名です。食事は山の幸をふんだんに使ったおいしいお料理で、特に手打ち蕎麦は最高でした。小諸には蕎麦屋が多く、どのお店でもおいしい蕎麦を味わえます。

私にとって生まれ育った小諸は、思い出深い「心のふるさと」です。現在まだ仕事を続けておりますので、いろいろな方々とお逢いする機会がありますが、「ご出身はどこですか」と聞かれたとき「信州小諸です」と答えるのが自慢であり、誇りでもあります。

これからもこの気持ちを持ち続けてゆきたいと思っております。



しなの鉄道から望む浅間

小諸の歴史まちづくりの取り組み

荻原礼子

(まちづくりプランナー、NPO小諸町並み研究会事務局、NPOこもろの杜理事長)

私たちの愛する、詩情豊かな高原の城下町・小諸。駅近くにこんなたくさんさんの歴史資源がまとまっているまちは少ない、もったいないと、多くの方に言われながら、懐古園の入園者は減少し、城下町も衰退傾向が止まらない状況です。

まちの中心部は人口減少、高齢化が進んでおり、お店も減って歩く人も少ない静かなまちとなっています。

私はこの状況を変えるためには、城址と歴史の町並みを生かして観光・商業を再生していくしか手がないと思います。



今年の城下町フェスタ

ここでは歴史まちづくりとして、小諸市や商工会議所、住民・NPOが今取り組んでいることを私の知る範囲、私の視点でこの報告いたします。

●本陣問屋、脇本陣の修復と活用

江戸時代小諸宿の宿場の中心であった問屋場は、現存する中では日本で一番立派な問屋場だと言われており、国の重要文化財に指定されています。長年放置され、老朽化や傷みが進んでおりましたが、やっと修復が始まりました。とはいっても現在は修復の方針を立てるための調査段階とのことで、工事が終わってオープンするまであと3年以上かかりです。

しかしこれには大きな予算がかかるので、市議の中でも今ここにこんなにお金をかけるべきではないという意見の方もいるようです。

文化庁は文化財保護を目的に事業を進めています。小諸市としてはこの問屋場の修復によりどのような経済効果を生み出すのか。活用ビジョン、まちの活性化戦略への位置づけを議員や市民にわかりやすい形で示す必要があるのではないかと思います。さて、その2軒隣の脇本陣です。長年、市町

のみなさんとNPO町並み研究会で、保存運動・活用提案づくりなどを行い、市への働きかけを進め、5年前に市が買い取りました。こちらの提案も入れていただき、宿泊施設としての活用に向けて昨年からの改修工事が進んでいます。私も活用計画をお手伝いいたしました。

奥の離れの座敷を宿泊にし、表側をカフェやギャラリーなどに活用する予定です。運営は、新しく誕生したこもろ観光局がある予定です。来年春のオープンを目指しています。しかしこちらも、問屋場や周囲の町並みと合わせた観光戦略を練っていかないと、営業がきびしいのではと心配しています。

オープンしましたら、どうぞ一度お泊りになってみてください。昔の大名気分を味わえると思います。

●北国街道の歴史まちづくり

問屋場、脇本陣は市町の話ですが、歴史の町並み保存活用で動き出したのは、本町です。

本町には、老舗の商家が軒を連ねて残っていますが、空き家やオモテのご商売をやめておられるお宅が増えて、観光客が訪れても楽しみがないというのが正直なところです。

このままでは、相続などの際に古い建物がどんどんこわされて駐車場またはマンションなどに建て替わるといふ変化は目に

見えており、観光商業の可能性は失われていきます。今お住いの所有者さんは、先祖から受け継いだものをなんとか残そうとがんばっておられるのですが。

そんな状況を踏まえ、本町のまちづくり協議会やこもろ観光局が協力し、国の伝統的建造物群保存地区(伝建地区)の選定を目指す学習会を始めました。

伝建地区とは、自治体が歴史的な町並みの保存計画を策定し、それについて文化庁が国の伝建地区として選定するものです。すると国から町並み整備について予算がつき、建物の修復についても自治体補助に対して国からも補助金が交付されるということです。現在、妻籠宿や川越、海野宿など全国で117地区が選定されています。

日本は今、オリンピックに向けて、歴史的なものを生かした観光おこしが国家戦略となっており、伝建に選定されることで他にもいろいろな支援が受けられるという宣伝もされております。

しかし小諸市は、平成十年から長い年月と巨額の資金をかけて歴史の道と建物を修理・修景する事業を行ってきたのですが、店が増えていないという「実績」があります。伝建地区指定については、たぶん議会などからも「活性化につながるなら、そこにお金をかけ続けるべきでない」という意見が出されるのは必至です。

本町としては、伝建の選定と合わせて、歴史的な建物を生かした魅力的な店を増やす

ことを目標にしています。

●若い世代の古民家熱を追い風に

これについて、ここ5年くらいで本当に変わったなと思うことがあります。古い家を借りたい、そこで商売をしたいという若者が急増しており、「古民家ブーム」と言える状況で、小諸のまちでも古い家の賃貸物件を探している若者が増えてきています。

低成長時代に育った若者たちは、ヨーロッパ型の「本物を大事に使っていく心豊かな暮らし」を志向し、センスのよい古民家を生かしたカフェや店舗が大人気となっています。また震災により若い人が、地域コミュニティの大切さを見直したという時代背景もあると私は感じています。

この風をとらえて、借し手（売り手）と若い事業希望者の上手なマッチングができれば、小諸のまちは蘇ります。

ご近所同士では、むしろ個人の財産には口を出しにくいということもあると思いますので、まちづくり協議会やNPO、行政、不動産業者などが連携して、「住み継ぐ、商い継ぐ」ための支援体制を作っていく必要があります。その一環としての「伝建地区」であれば、議会などにも理解を得られるのではないかと思います。

そのひとつの仕掛けとして本町を中心に毎年「城下町フェスタ」というイベントを実施しており、今年も9月21日から5日間開催されました。

歴史的な建物をお借りして、実験的にアートやクラフトの店を展示・出店してもらうイベントです。今年も13の店が出て、全国からお客様を呼ぶことができました。建物をお借りすることが、年に一度、空き家や空き店舗を持つ家主さんとお話をする機会ともなっています。

かつて嫁として娘として老舗の商家を切り盛りしていて、「私のいるうちはなんとか看板をあげていたい」とほそぼそ店を開けているひとり暮らしの70代、80代の女性は何人もいらして、その方たちが積極的に協力してください。また、古い建物を相続したがどうしたらいいかわからないという方などともお話をします。

所有者のみなさんは、本当に苦勞して建物を守ってくださいています。市として地域として、それにどう答えていけるか、問われていると思います。

●懐古園の名称指定を目指して

小諸のシンボルでもある懐古園にも、動きがあります。市の名勝として指定し、数年後には国の名勝としての指定を視野にいられていきたいとのこと。

城址だから「史跡」ではないかという声もありますが、市にもアドバイスをいただいている信州大学の佐々木邦博教授のお話では、「史跡となると、基本的には江戸時代の城の姿を復元する必要がある、今の懐古園の姿を変えなくてはいけなくなる。懐

古園は、詩情ある小諸城をベースに、明治以降に旧藩士が苦勞して公園として再生し、島崎藤村により全国的に有名になったというところに、国の文化財としてふさわしい特色がある。よって名勝を目指すのがよい。これだけの価値のある有名な園が、これまでになんの文化財指定もされていないかつたというのが不思議である」ということです。

市では今後、関係者や市民の合意形成を図りつつ、国の名勝に向けた方針づくりの調査を行っていく予定とのこと。

これをきっかけに、懐古園の価値の再評価や魅力アップの方策が話し合われ、落ち込んでいた来訪者数を再び増加させていくことが小諸の観光まちづくりには必要不可欠と思われれます。

私は今年度、商工会議所からの委託で、懐古園の千曲川側の斜面の整備活用についての調査を行っています。

懐古園から川に降りる道は3つあり、動物園と馬場の間を通ってダムに向かう「木谷」は、土砂が集積して通行不能となっています。馬場から降りる遊歩道は、松枯れなどの倒木で通行不能となっており、かつて美しかった森も荒れ果てた状況となっています。唯一降りられるのは、小山敬三美術館の脇の散策路です。

商工会議所では、これに対して「大事な懐古園の森を荒れたままにしておくのは忍びない」と、会員から寄付金を集めて市に寄付をしました。今年度中に、馬場からの

道は整備・開通する予定です。

私の調査は、千曲川河畔の風景保全や利活用を含めた、懐古園周辺の魅力アップについてまとめたかと考えています。

●大手門公園とその周辺

最後になりますが、昨年は大手門周辺も整備が進みました。くらしかる浪漫館（旧蔵）が、耐震の問題で残念ながら取り壊しとなりました。跡地は広場として整備され、今年の祇園祭のメイン会場となり、かつてない集客が実現しました。その横の駐車場は、小諸城のイメージにあった石積みと植栽で修景されました。公園内の停車場ガーデン、せせらぎの丘、本陣主屋は、NPOが指定管理者となり、若者や女性など多く



今年の城下町フェスタ

のスタッフの手で活気ある場所になっています。特に、公園を使つての集客生の高いイベントが毎月のように行われており、駅前のにぎわいづくりに貢献しています。

以上、小諸の歴史まちづくりについてざつと状況をご報告しました。

小諸では、「こもろ観光局」も立ち上がり、

信州小諸観光「下半期」イベント情報

東京小諸会の皆さん、家族、友人を誘っておいで下さい

①第8回 北国街道蕎麦グルメウォーキング

日程…9月30日(日) 7:15～15:00程度
主催…浅間サンラインネットワーク
場所…軽井沢追分宿スタート、小諸城大手門ゴール
問合先…(一社)こもろ観光局

0267-22-11234

概要…軽井沢の追分宿をスタートし、小諸城をゴールとする約14kmのウォーキング大会。

蕎麦をはじめとする地元グルメを味わいながら歩きます。

真田氏と徳川軍の決戦「第二次上田合戦」では、小諸城に本陣を置いた徳川秀忠公を、小諸城主であった仙石秀久が追分宿まで出迎えに行き小諸城まで案内したという史実イベントです。

観光によるまちの再生という方向にみな向き始めているように思います。

ただし、これらをひとつにまとめて政策としての戦略をつくれるのは、やはり行政の役目だと思います。それがあれば、関係団体も方向性をひとつにして力を発揮できるのではないかと思います。今が小諸の正念場だと思います。

②第24回 信州小諸ふどまつり

日程…10月6日(土) 10:00～15:00
主催…小諸商工会議所
場所…小諸駅周辺
問合先…小諸商工会議所

0267-22-3355

同時開催…骨董・蚤の市、小諸まちなかマルシェ、病院祭、コモロゲイニング

概要…小諸の新たな文化(Food)の開発や地域性(風土)の掘り起し、そして街歩き(Foot)を目的として毎年秋に開催されます。

様々なイベントが同時開催され、飲食や骨董市、農産物、マルシェ、各種展示、イベント等、小諸駅周辺がとて賑わいます。今年からは、レーシングカー等の展示が行われるコモロカーニバルも同時開催。

③舞台めぐりサイクル&ウォーキング KOMOROGAINING (コモロゲイニング)

日程…10月6日(土)
主催…(一社)こもろ観光局
場所…小諸市内全域
問合先…(一社)こもろ観光局

概要…小諸市内にあるアニメ・マンガの舞台をめぐる写真を撮影しながら、小諸のグルメを食べてポイントを稼いで競うイベントです。

自転車で高得点を狙うもよし、普段自転車に乗らないけど電動アシスト自転車でガチ勢と競うのもよし、徒歩で食い倒れするもよしのミックスガチンコバトルです。

④小諸城址懐古園紅葉まつり

日程…10月20日(土)～11月18日(日)
主催…小諸市懐古園事務所
場所…小諸城址懐古園
問合先…小諸市懐古園事務所

0267-22-0296

概要…日本百名城のひとつ、紅葉の名所「小諸城址懐古園」で開催されます。

苔むした石垣の緑と黄、橙、朱に染まる紅葉した園内のケヤキやモミジ、カエデなどの樹々とのコントラストをお楽しみください。

期間内には、甲冑武者による甲冑野点や草笛教室、園内ボランティアガイド等が行われます。

⑤東信菊花展

日程…10月20日(土)～11月4日(日)
主催…小諸商工会議所、東信秋香会、(一社)こもろ観光局
場所…小諸城址懐古園馬場
問合先…小諸商工会議所

0267-22-13355

概要…懐古園の秋の風物詩として知られている菊の祭典「東信菊花展」。

県内各地から出展される約600点の菊が古城の紅葉に美しく映え、訪れる人々に素晴らしい感動を与えます。

⑥マンズワイン(株)小諸ワイナリー 第20回 収穫祭

日程…10月27日(土)、28日(日)
各9:00～16:00
主催…マンズワイン株式会社 小諸ワイナリー
場所…同上
問合先…同上(0267-22-6341)

概要…ワイン作りに最適な地、マンズワイン小諸ワイナリーで、日頃お世話になっている地元の皆様や、ワインをご愛飲下さる方への感謝をこめて、収穫祭が開催されます。1杯目をグラスと共に300円で購入すると、その後は1杯50円。

他にも様々な飲食ブースの出店やイベントが盛りだくさん。ワイン用ブドウ畑も望みながら、楽しく酔いしれてください。

⑦甲冑野点

日程…11月4日(日)、11日(日)

各10…00…15…00

主催…(一社) こもろ観光局

場所…小諸城址 懐古園馬場(あずま屋)

問合せ…(一社) こもろ観光局

0267-22-1234

概要…小諸センゴク甲冑隊による野点を地元のお菓子と共に味わう甲冑野点。

関ヶ原の合戦に向かう東軍本体の徳川秀忠が、真田家討伐のために本陣を構えた小諸城で、時の小諸城主 仙石秀久が野点をもつて出迎えたという仮想の物語に因んでいます。

秀久の娘と、茶道で知られる古田織部の息子は婚姻関係にあり、また織部は徳川秀忠の茶道指南役に抜擢され「織部焼」でも知られます。

戦国時代、利休七哲の一人古田織部(重然)は、時の大名達に多大な影響力を持っていた。

そのため、秀久が野点で徳川秀忠を出迎えたとしても何ら不思議はありません。

⑧北国街道小諸宿 お人形さんめぐり

日程…2月24日(土)～3月10日(日)

主催…北国街道小諸宿のお人形さんめぐり実行委員会

場所…小諸駅周辺

問合せ…ほんまち町屋館

0267-25-2770

概要…北国街道小諸宿を中心に、小諸駅周辺の地区で、江戸、明治、大正、昭和の各時代の様々な雛人形やつるし雛が冬の街道を彩ります。

期間中は、つるし雛体験教室など各種イベントが盛りだくさんに開催されます。

⑨小諸をバスでめぐるツアー

日程…実施中(11月25日(日)までの土日祝日)

主催…(一社) こもろ観光局

場所…市内全域(小諸観光交流館発)

問合せ…(一社) こもろ観光局

0267-22-1234

概要…小諸各地の観光施設や浅間山への周遊バス。

布引温泉、マンズワイン、小諸高原美術館、北国街道、高峰高原、浅間山登山口等、小諸観光交流館9…50発の便を初便として、お客様ご自身で各スポットを巡って頂けるバスを運行しています。

詳しくはお問い合わせください。

⑩はろー浅間山(前掛山)登山

日程…9月15日、29日、10月20日、11月3日(いずれも土曜)

8…00…16…50

主催…(一社) こもろ観光局

場所…天狗温泉 浅間山荘集合→前掛山

登頂

問合せ…(一社) こもろ観光局

概要…浅間山の噴火警戒レベルが引き下

げられ、前掛山までの登山が可能となりました。

この機に、ぜひガイド案内付きで日本百名山に数えられる浅間山の登頂を試してみませんか。

第15回 北国街道小諸宿お人形さんめぐり

実行委員長 依田さおり(本町)

「北国街道小諸宿のお人形さんめぐり」は、今年で15回目を迎えます。お陰様で訪れて下さるお客様の中にはリピーターも多く、毎年楽しみにしていますとおっしゃって頂くまでになりました。下はベビーカーに乗った赤ちゃんからは介護施設のお年寄りまで、毎年大勢の皆様にお越し頂いています。

第15回のお人形さんめぐりの期日は、平成31年2月23日(土)～3月10日(日)。本町通り・ほんまち町屋館・本陣主屋・与良館をメイン会場に、相生町・大手・市町・与良の商店や個人宅約100軒ほどにお雛さまやつるし飾りが飾られ、城下町の風情残る町並みがお雛さままで彩られます。特にほんまち町屋館では、30本にのぼる色鮮やかな手作りのつるし飾りと、享保雛をはじめとした小諸の歴史を感じさせる江戸時代からのお雛さまも数多く展示されます。

昨年はこもろ観光局主催で、『四百年の隠し雛さがし』『幸せめぐり』と題して、小諸の逸話にちなんだモチーフを捜し、キー

観光局スタッフの手作りスタンプリーや登頂証明書、天狗温泉入浴券などの特典も。

小諸観光局 東京小諸会

ワードを当てるとというゲーム感覚の楽しい企画もありました。

今、実行委員会では皆さんに楽しんで頂けるイベントを企画中です。決まりましたら、ほんまち町屋館のホームページに掲載しますので、どうぞお楽しみに！

では、ほんまち町屋館でお会いしましょう。今年も皆様のお越しを心よりお待ちしております。

▼問合せ先 ほんまち町屋館

電話 0267-25-2770

URL <http://www.machiyakan.com>



お人形さんめぐり

明治学院大学 クリスマスツリー点灯式



平成29年参加の美南方丘小学校

小諸市にゆかりの深い島崎藤村が、明治学院の第一期卒業生であるというつながりから、小諸市と明治学院大学は、文化、産業、教育、学術等の分野で相互に協力し、相互の発展と人材の育成に寄与することを目的として、平成18年に「協働連携に関する基本協定」を締結しています。そして、そのご縁で、毎年11月下旬に港区白金にある明治学院大学白金キャンパスで行われるクリスマスツリー点灯式に、平成19年から小諸市の小学校生徒が招かれて順番に参加しております。

今年から3順目に入り、今年の水明小学校合唱部の皆さんが参加します。

どうぞ、生徒さんを元気づけるため、応援に駆け付けて下さるようお願い申し上げます。

一、日時 平成30年11月22日(木)

16時30分

二、場所 明治学院大学白金キャンパス
(港区白金台1-2-37)

最寄駅 南北線・三田線白金高輪、
白金台。浅草線泉岳寺

今年の東京小諸会

“きらら会”

演奏会の紹介

1、トランペット二重奏

トランペット 蓬田奈津美

渡邊 美優

ピアノ 今井 麻耶

・情熱大陸

葉加瀬太郎 作曲

・主よ人の望みの喜びを

J・S・バッハ 作曲

・日本の歌メドレー

2、ソプラノ独唱

ソプラノ 竹内 直美

ピアノ 今井 麻耶

・初恋

石川啄木 作詞

越谷達之助 作曲

・少年時代 井上陽水 作詞/作曲
・翼をください 山上路夫 作詞
村井邦彦 作曲

3、ソプラノ・トランペット・ピアノ

ソプラノ 竹内 直美

トランペット 蓬田奈津美

渡邊 美優

ピアノ 今井 麻耶

・見上げてごらん夜の星を

永 六輔 作詞

いずみたく 作曲

出演者プロフィール

竹内直美(ソプラノ)

小諸高校音楽科卒業。東京芸術大学音楽部声楽科卒業。日本声楽科協会修了。アカデミー会員。東京スクール・オブ・ミュージック専門学校ヴォイスストレーナー。

蓬田奈津美(トランペット)

小諸高校音楽科を経て、東京藝術大学卒業。卒業時にアカンサス音楽賞、同声会賞を受賞。同校学内オーディションにより平成27年度藝大室内楽定期演奏会に出演。第12回チエジュ国際コンクールにて金管5重奏部門第1位を受賞。プラスクインテット「粋」メンバー。

渡邊美優(トランペット)

小諸高校音楽科を経て、東京藝術大学卒業。在学時に同校室内楽試験において選抜され平成27年度藝大室内楽定期演奏会に金管5重奏として出演。同金管5重奏にて第12回チエジュ国際コンクール金管5重奏部門において第1位を受賞。プラスクインテット「粋」メンバー。Film Brassメンバー。

今井麻耶(ピアノ)

小諸高校音楽科、武蔵野音楽大学を経て、日本大学芸術学部博士前期課程を修了。大学在学時には福井直秋記念奨学生に選出された。

これまでに、在学生選抜によるコンサート、公開レッスン、新人演奏会、公益財団法人八十二文化財団ロビーコンサート他、多くのコンサートに出演。ジョイントリサイタルを開催。2017年4月にはピアノリサイタルシリーズをスタートさせた。

現在は後進の指導にあたりながら、ソロ、室内楽、伴奏などの演奏活動を行っている。

幕末のテロに葬られた議会制度の提案者

赤松小三郎の夢

赤松小三郎研究会 岡田 渉

はじめに

日本の議会制度の源流をたどると、それはどこまで遡ることが可能であろうか？日本で初めて議会制民主主義を建白したのは板垣退助か坂本龍馬か、福沢諭吉か横井小楠か？やはり赤松小三郎を調べるのが源流のひとつに辿りつくのではと考え、文献や先人の研究などを調べ、その感想を述べてみたいと思う。

日本における議会設立論は、板垣退助によるものが初めてではなく、幕末からあり、安政元年（一八五四）から慶応三年（一八六七）にかけて多くの改革指導者の共通目標になっていたと推測する。幕末期 福沢諭吉の『西洋事情』は一五万部のベストセラーで、横井小楠の「国是七条」、大久保忠寛の「大小公議設置意見」、西周「議題草案」などで議会制度は紹介・提言され、幕閣始め為政者の基礎知識だったようだ。

明治政府は実質これら旧幕臣に思想的影響を受けた官僚が国家運営を支えていたと考えるが、昨年は大政奉還一五〇周年。京都市では幕末期京都で活躍した先人たちの歩みを、近年の研究成果を踏まえて再評価する事業イベントを立ち上げ、「幕末維

新群像四五人」を選定した。その中に赤松小三郎がいる。彼は慶応三年松平春嶽に憲法や議会、教育、人民平等、殖産興業、通貨政策、必要最低限の軍備等七条を建言しているが無名に近い。半年後に暗殺されるが、赤松の議会国家構想は山本覚馬の「管見」に影響を与え、大正時代、尾佐竹猛に評価されて初めて世に知られるようになる。

今回のテーマは、この赤松が描いた近代国家建設の設計図に改めて光をあて、幕末から明治初年までの公議政体論と議会の連続性と非連続を探ってみる。

第1章 赤松小三郎とは

（略歴と人物像）

赤松小三郎とは？

幕末の混乱期、徳川体制が揺れて日本の針路が問われる中で、象徴天皇制を取り、諸国より選挙で選ばれた道理に明るい人が国家の運営を決定するという「議政政体」を提案していた軍学者が日本にいた。それが赤松小三郎である。今から一五〇年前の慶応三年五月十七日、信州上田の松平伊賀守家中の下級武士・赤松小三郎は、先の越前侯にして公儀・政事総裁職でもあった松平

春嶽に「御改正口上書」（国政改革の建白書）を提出した。

赤松小三郎は上田藩（現在の長野県上田市）の下級武士。天保二年（一八三一）、芦田勘兵衛の二男（清次郎）として誕生。藩の熱心な教育環境の中、十三歳から藩校の明倫堂で和算や剣術など武士の教育を受ける。叔父に算法の学者がいた影響か、幼少のころから算学好きだったという。嘉永元年（一八四八）一八歳で江戸に出て内田弥太郎の下で数学、天文、測量、暦学を学び、二歳の時には下曾根金三郎信敦の下で、蘭学、砲術を習得した。安政元年（一八五四）二四歳で上田藩士赤松家の養子となる。

翌安政二年には勝海舟の従者として長崎海軍伝習所に赴き、航海術やオランダ武兵学などを学んだ。ここで赤松は、オランダ人と自由に意思疎通が出来、ヨーロッパの近代科学の基礎から応用まで知見を深めた。長崎伝習所で赤松は身分が低かったため、正規の伝習生にはなれず、「組外徒士」（聴講生）の立場だった。しかし、航海術や測量術などの授業は正規の伝習生の語学力や知識ではついていけず、赤松の数学や科学の知識による解釈によつてはじめて理解することができたという。赤松は、長崎にいた四年間でオランダ語や英語の原書を読破し、一緒に参加している伝習生のためにテキストの翻訳までやっている。また和蘭語の兵法書『新銃射放論』『矢ごろのかね』『選馬説』などを翻訳（出版）している。

安政六年長崎海軍伝習所が閉鎖され、赤松も長崎から江戸にもどつてくると、折しも安政の大獄の最中で、赤松の主君であり開国派で次席老中の松平忠固は、前年井伊直弼によって罷免され安政六年九月に謎の死をとげている。

同年、遣米使節団の派遣に咸臨丸が随行することが決定し、その艦長に勝海舟が任命された。乗組員も伝習所の卒業生から選抜されることになり、赤松は自分も選ばれたものと思っていたが、員外聴講生だった赤松は推薦されなかった。測量や航海術をマスターした自分が、咸臨丸には乗せてもらえない。その悔しさを赤松は詩文集「塵塚」に書き記している。

異国の風に蘭をかむ柳かな

亜国行きを懐ひて／春風や東に霞む船

二つ

家柄は言うな雪解の黒濁り

徒然の夢／寂々寥々松尾城門、狐声耳を

貫き徒らに東天を視る、雲霞

（以下略）

長崎伝習所で一期後輩の赤松大三郎は旗本出身のためアメリカに行けた。語学、航海術で誰にも負けないと自負する自分は門閥身分ではなかったため推薦されなかった。文久元年（一八六一）赤松は名を「清次郎」から「小三郎」と改名している。よほど咸臨丸に乗りたかったのである。



赤松小三郎画像（上田市立博物館）

赤松は上田に帰り、赤松家の家督（一〇石三人扶持）を引き継ぎ、藩から訓練調方御用掛を命ぜられていた。文久三年松代真田藩家臣・白川久左衛門（一〇〇石取り）の娘たかと結婚する。赤松は上田から山一つ越えた松代に蟄居をとかれたばかりの佐久間象山と会い、以後象山と文通する関係になった。象山も赤松から和蘭兵書を借りたり、時勢を論じたりする関係であったが、あの尊大な象山が赤松に対しては、丁寧な言葉で返書しているところが興味深い。

元治元年（一八六四）九月、幕府は神奈川に駐在中のイギリス陸軍から西洋の軍事制度・歩兵訓練を学ぶことになり、一月頃から士官養成訓練を始めた。そして英語の軍事戦略書の翻訳が緊急の課題となっていた。

赤松は同年九月第一次長州征伐に際し、横浜に武器買い付けに来ており、英国陸軍の訓練現場を見学し、一月にはアブリン大尉による英語の手解きを受けていた。そこで、幕府講武所砲術師範下曾根は旧知の

赤松に英国式歩兵練法の翻訳を委嘱することにしたのであった。翌慶応元年（一八六五）二月赤松は下曾根塾に再入門し、金沢の浅津富之助（後の海軍官僚南郷茂光）と英国式歩兵練法の翻訳を始める。ところが、翻訳を始めた途端同年四月第二次長州征伐の命令が下り、上田藩は將軍家茂に従って大坂在陣を命じられる。在陣中暇を見つけては翻訳をすすめ、慶応二年三月に全五編八冊が完成した。（二・四編は浅津の訳）これによって赤松の軍事翻訳家としての知名度は一気にたかまった。

一方幕府は慶応二年五月急遽兵制をフランス式に改める。

同年、赤松は上田で実父の葬儀を終え江戸に立ち寄り、京都に向かう。

実は、薩摩藩は慶応二年兵制をオランダ式からイギリス式に改めており、西洋式兵学の習得に野津七次（道貫）を江戸に派遣している。そして下曾根塾塾頭の平元良蔵の邸宅で赤松から指導を受けているが、さらに国元での指導者を探すことになった。当初、平元良蔵を招致しようとしたが、平元に断られ赤松に白羽の矢がたった。慶応二年秋に赤松は京都二条城に近い衣棚で私塾を開き、今出川の薩摩屋敷でも西洋式の散兵の訓練を指導し、野津道貫や東郷平八郎などの軍事指導者を多数育成している。そのかたわら薩摩藩島津久光侯の委嘱により薩摩版「重訂英国歩兵練法」を翻訳した。

前記のとおり、赤松は慶応三年五月にも、と政事総裁職で前福井藩主の松平春嶽、薩摩藩の島津久光や公儀にも、二院制国会創設など七項目の建白書を提出している。

将来の政体構想と国家のグランドデザインを描き、幕府と薩長の内戦を回避し、幕薩一和、諸藩一和のもと上下二局の議政局により内憂外患のこの時期を乗り切る平和的な新政府樹立を模索し、最後まで東奔西走したが、大政奉還を目前に慶応三年九月、京都から上田に帰ることになったやきき、京都の東洞院魚棚で待ち伏せていたテロリストに暗殺された。赤松の死に対し薩摩藩島津侯は一〇〇両を贈り弔慰を示した。

赤松暗殺の闇

赤松暗殺の首謀者は明治時代になってもわからなかったが、昭和四四年に元薩摩藩士桐野利秋の『京在日記利秋』が発見され、桐野本人（中村半次郎）が同僚と二人で暗殺したことがわかった。「京在日記利秋」には散策中に偶然に見つけ、赤松は幕府のスパイなので討ち果たしたとある。一方明治三〇年代編纂の薩摩藩の『島津忠義公史料』では「中将公御出立前夜打果候ヨシ」と記載されており計画的な匂いがする。

公家の『朝彦親王日記』にも「十印よほどのころなにか計これあるべくか」との記録がある。

赤松暗殺の真の理由は、薩摩藩の軍備事情が幕府筋へ洩れることを防ぐのと、薩摩

の路線変更（幕薩一和から倒幕へ）に伴う赤松の影響力を削ぐことにあったと考える。この頃、赤松は薩摩や会津および幕府方の重鎮と会い「幕薩一和」の周旋を行い、平和裏な政権移行を説いている。兄・芦田柔太郎宛の書簡（慶応三年八月十七日付）によると

此の節小生は幕薩一和の端を開き候事に懸り、薩西郷吉之助え談合し、幕の方は会藩公用人にて談じ始め居り申し候。小生は梅沢孫太郎、永井玄蕃公え説く。少しは成り申すべき見込みに候

会藩公用人とは砲術師範山本覚馬のことと思われ、彼が戊辰戦争後薩摩藩に囚われの身となって書いた「書付」にも「昨卯年六月私儀赤松小三郎を以御藩小松氏西郷氏え其段申述候処御同意に付幕府監察も申談候得共更に取合不申猶夫是奔走周旋罷在候」とある

実は、赤松は慶応二年十一月、幕府から開成所教官兼海軍取調役に採用したいという打診があった。しかし、上田藩京都留守居役代の赤座寿兵衛がこの話を断った。まずは藩の銃隊指導と兵制取調のため必要な人材だからという理由であった。一方、会津藩が赤松の上田帰国を阻止するとともに、赤松の有能さに着目し自藩への召し抱えを図った。

また、鳥取藩の「慶応丁卯筆記」によれ

は薩摩家老の小松帯刀は、慶喜側近で公議監察(目付)原市之進に直接掛け合つて、赤松を薩摩に据え置くことを認めて欲しいと交渉していたという。その原市之進も八月十五日同僚によつて殺害されてしまう。薩摩の小松帯刀や西郷も慶応三年六月の薩土盟約成立の時点では公議政体派で、英国外交官のアーネスト・サトウに対して国民議会の設立について熱弁を振るいサトウを困惑させたと言われている。

それが八月中旬、極秘裏に薩摩は具体的な武力蜂起の秘策を長州藩に明かし、倒幕へと方針変更する。なお、西郷は赤松暗殺の当日(九月三日)大坂で土佐の後藤象二郎から、土佐藩は京都に軍隊を派遣しないことになったとの報告を受けている。九月七日薩土盟約は破棄される。

しかし、赤松自身は武力で権力を奪うということには否定的な考えの持ち主だった。慶応三年七月付の兄の芦田柔太郎宛の書簡に、赤松の思想の一端があらわれている。「各藩、兵を募り兵力を以て権を取り候様なる形勢」であるが、これではとても日本は「良国」にはならないだろう、「只各万国普通之道理を学び候のほか、これ無き事と存じ奉り候」と彼は書いている。ここで「万国普通の道理」というのが議会政治や選挙で宰相を選ぶということであるのはいうまでもない。

赤松は日本人同士が争う愚かさを説き、幕府に大政奉還させて、平和的に新体制に

移行させる構想をもっていた。戦争には必ず勝者と敗者があり、まして日本人同士で戦争をすると、勝者は奢りたかぶり、敗者を虐げて悲劇が生まれる。そして勝者の特定の出身者たちが国を治める結果になる——そういう世の中にならないように万国普通の道理で改革を進めるといのが赤松小三郎の考えである。

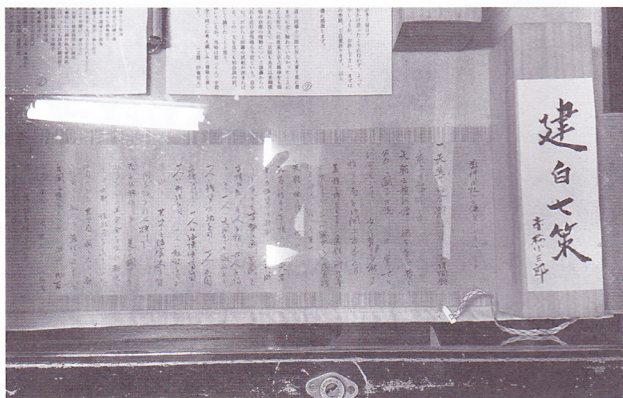
赤松はほどなく建白を実現できない厳しい状況をどう理解していたかわからないが、志半ばで藩命に従い上田に帰藩の準備をする。一方、薩摩は赤松を自藩の兵学教授として招きながら、「危険な人物」として考えるようになり、そして、赤松の評判が高くなり、幕府や会津藩までもが赤松を招こうとするに及んで、大久保利通は赤松の身辺探索を命じている。

暗殺の前日、送別の宴を計画し赤松を誘いだしたのは大久保利通で、宴たけなわのところ、混乱時勢、今日限り師弟の縁を断つて貰いたい、と申し出たのは中村半次郎であつたという。やはり大久保は黒幕の一人だが、長州藩の品川弥二郎の日記にも、九月一日(閏三郎探索書来ル)、同二日(閏三郎ノ事頼ム)同三日(赤松一昨日斬首セラレヨシ)とある。

薩摩藩上層部は赤松抹殺を中村半次郎に指示したのではと思う。また、薩摩はそれを隠すために二種類の斬奸状を出し、葬儀には過大な弔慰金を贈り、門下生三〇数名

を出席させている。それに加えて慶応三年十二月に旧幕府軍側の会津藩の本陣である京都金戒光明寺に小三郎の墓と碑を建立している。幕末期の龍馬暗殺の謎は組上にあがるが、島津久光、西郷隆盛、徳川慶喜、松平春嶽といった時の権力者と対等に会談ができた赤松小三郎暗殺が、幕末史および明治以降の議会制度研究に登場していない。

(以下次号)



建白書複製(赤松小三郎記念館)
原本は鹿児島県歴史史料センター黎明館蔵

平成29年度決算報告書

自 平成29年9月1日
至 平成30年8月31日

(単位 円)

支出の部	
科目	金額
総会関係費	916,480
通信費・事務用品	18,564
印刷費	309,600
会費・会議費	59,771
雑費	50,624
次年度繰越金	434,628
合計	1,789,667

収入の部	
科目	金額
前年度繰越金	387,663
年会費収入	547,000
広告収入	590,000
祝儀収入	265,000
雑収入	4
合計	1,789,667

(平成28年度決算報告書支出の部
合計金額は1,660,569円でした。)
右記の通り平成29年度決算を報告します。
平成30年8月31日

理事(会計) 小林 裕

以上の報告を監査したところ正確であると認めます。

監事

掛川 国雄
鈴木 裕子



清酒

アルコール分15.0度以上
16.0度未満

原材料名／米・米こうじ
醸造アルコール
精米歩合／60%

製造年月

小諸産低農薬米と

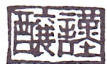
諸の湧水

「争天の泉」で

仕込んだ

小諸の清酒です

大塚酒造株式会社
長野県小諸市大手二一―一二四
電話・FAX 〇二六七―二二〇〇二二



東京小諸会役員

顧問

小泉俊博

会長

渡辺静雄

副会長

田沢雄二

常務理事

堀小宮山英毅

白鳥ひさし
北村尚巳
岩崎忠男
小山平六

監事
相談役

理事

稲垣信克 木俣美紀子 下村俊朗 小白裕朗 小林伍根 松井石根 中村六子 神津久幸
飯高盛龍 鈴木裕子 鈴木裕子 小橋洋之介 高山昭平 高橋昭平 掛川国雄 須田武久 荻原礼子

第15回 北国街道小諸宿の

お人形さんめぐり

平成31年 2月23日(土)
～3月10日(日)

本町通り・ほんまち町屋館・小諸本陣主屋・
相生町・大手・市町・荒町・与良町

冬の小諸を味わう!!
見て、食べて、歩いて……
癒しの時をお楽しみ下さい。

期間中の各種イベント予定のご紹介

- *つるし飾り作り体験教室 要予約
- *わら馬作り教室
- *お人形さん感謝のつどい
- *お人形さんめぐりガイドツアー
- *わら馬パレード (小雨小雪決行)

ほんまち町屋館ホームページ

<http://www.machiyakan.com/>
TEL・FAX 0267-25-2770

東京小諸会監事

飯 高 盛 龍

東京小諸会副会長
会計担当

岩 崎 忠 男

東京小諸会理事
株式会社イナガキ代表取締役

稲 垣 信 克

〒132-0055 東京都江戸川区瑞江三-1-22
電話 〇三(三六七〇)〇七五二
FAX 〇三(三六七〇)〇七七八

東京小諸会相談役

掛 川 國 雄

東京小諸会副会長・事務局
ホームページ担当

北 村 尚 巳

東京小諸会理事

木 俣 美 紀 子

東京小諸会理事

神 津 久 幸

東京小諸会理事
会計担当

小 林 裕 ゆたか

〒106-0055 東京都港区麻布十番四-3-1-108-1
Eメール 7219acc@icomazakne.jp

東京小諸会常務理事

小 宮 山 栄

コミミ株式会社社長
国際箸学会幹事
〒332-0001 埼玉県川口市並木二-1-13
電話(〇四八)二五〇一五三一

東京小諸会相談役

小 山 洋 之 介

東京小諸会副会長
会報担当

小 山 平 六

東京小諸会副会長
松戸市はつらつクラブ連合会会長

白 鳥 ひ め じ

〒270-1222 千葉県松戸市高塚新田三〇二一
電話 〇四七(三九二)五九五九

東京小諸会理事
GS事務所代表

白 鳥 伍 朗

〒130-0033 横浜市鶴見区朝日町二-189-1329
電話 〇四五(五〇四)二三七〇

東京小諸会理事
きらら会代表

下 村 俊 子

東京小諸会監事
高級乾菓子卸
清水屋

鈴 木 裕 子

〒101-0032 東京都千代田区岩本町二-1-15
電話 〇三(三八六六)〇七三二

東京小諸会相談役

須 田 武 久

〒252-0022 相模原市中央区由野台一-14-11
電話 〇四二(七五五)一六八七

東京小諸会相談役

高 橋 昭 平

〒162-0021 東京都目黒区東ヶ丘一-128-18
電話(〇三)三四一八-〇四一六

東京小諸会副会長

田 沢 雄 二 郎

〒183-0002 東京都府中市押立町四-15-10
電話(〇四二)四八六-二〇六九

東京小諸会常務理事

堀 英 毅

東京小諸会理事
松実高等学園理事長

松 井 石 根

東京小諸会会長
三和シャッター工業株式会社 元副社長

渡 辺 静 雄

〒175-0094 東京都板橋区成増二-3-1-15
電話 〇三(三九三八)五〇三二

東京小諸会
役員有志協賛

東京小諸会のホームページ

<http://komorokai.web.fc2.com/>

小諸市のホームページ

<http://www.city.komoro.lg.jp/>

入居者募集中

全施設 入居一時金・保証金なし！

地元で働く。地元で生きる。

資格、経験、技術不問。短時間勤務可能。☎0267-23-1510 担当：北澤まで

住宅型有料老人ホーム

ことぶきの家 小諸



城下町に高原の風が流れる施設

交通アクセスの良好な立地。食堂からは雄大な浅間山を望み四季の移り変わりを感じる事ができます。1階のデイサービスを利用できるため、リハビリやレクリエーション等を楽しみながら、穏やかな毎日を過ごす事ができます。

月額(税込) **121,493 円**～ 定員 **92 名**



●類型/住宅型老人ホーム●所在地/小諸市御影新田池の上 2090-1●交通/佐久平駅 約 6km●事業開始年月日/平成 25 年 4 月●構造及び規模/鉄骨 3 階建・耐火建築物/4,065 m²●居室数及び居室面積/92 部屋/14.6 m²●入居定員/92 名●契約形態/利用後方式●利用料の支払い方式/月払い方式

住宅型有料老人ホーム

ことぶきの家 南館



明るく落ち着いた雰囲気の新築

浅間連峰を北に仰ぐ、千曲川右岸の自然豊かな地で充実した毎日を送っていただける、低料金を実現した新築施設。城下町に高原の風が流れる、交通アクセスの良好な立地で、輝く生活をご提供します。

月額(税込) **99,820 円**～ 定員 **90 名**



●類型/住宅型老人ホーム●所在地/小諸市御影新田池の上 2090-1の2●交通/佐久平駅 約 6 km●事業開始年月日/平成 29 年 11 月●構造及び規模/木造 2 階建・準耐火建築物/2,464.97 m²●居室数及び居室面積/90 部屋/13.04 m²/58 部屋/13.66 m²/21 部屋/13.24 m²/11 部屋●入居定員/90 名●契約形態/利用後方式●利用料の支払い方式/月払い方式

介護付き有料老人ホーム

ことぶきの家 御影



四季折々の季節を感じれる施設

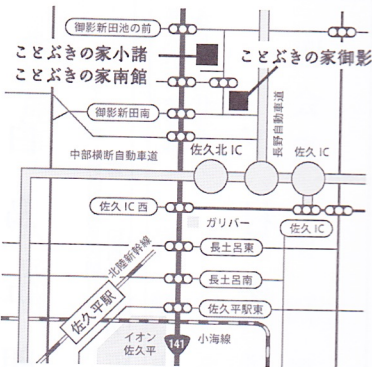
周囲には大型ショッピングセンターがあり、足をのばせば小諸の歴史ある町並みを見ることができます。雄大な浅間山の、四季折々の景色を感じながら、悠々とした生活をご提案させていただきます。

月額(税込) **142,521 円**～ 定員 **60 名**



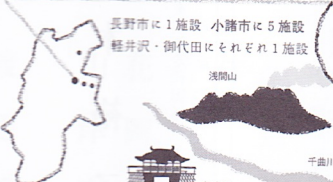
●類型/介護付き老人ホーム●所在地/小諸市御影新田池ノ上 2257-1●交通/佐久平駅 約 6km●事業開始年月日/平成 21 年 11 月●構造及び規模/木造 2 階建・準耐火建築物/2,13.61 m²●居室数及び居室面積/60 部屋/14.9 m²●入居定員/60 名●契約形態/利用後方式●利用料の支払い方式/月払い方式

アクセス ☎384-0808 長野県小諸市御影新田池ノ上 2090-1



首都圏からのアクセス良好！

上信越道 佐久北 I.C. より 5 分
東京駅から北陸新幹線で「佐久平駅」(東京駅から 72 分)
北陸新幹線 佐久平駅 より車で 10 分



ことぶきの家総合相談室



介護のことが
ご対応します
介護でお困り
のこと何でも
ご相談下さい

契約時の
安心
サービス

1 無料お迎え無料引越し
2 ご契約場所への無料出張

☎0120-811-772

月額(税込) **139,098 円**～

若穂 介護付有料老人ホーム

地域密着型特定施設入居者生活介護



木を基調にした、
地域に開かれた施設

●類型/介護付老人ホーム●所在地/長野市若穂南内町 8539-1●交通/須坂長野東 IC 約 2.3km●事業開始年月日/平成 09 年 07 月●構造及び規模/木造 2 階建・準耐火建築物/1,247.9 m²●居室数及び居室面積/29 部屋/16.56 m²●入居定員/29 名●契約形態/利用後方式●利用料の支払い方式/月払い方式

月額(税込) **82,853 円**～

西軽井沢 住宅型有料老人ホーム

住宅型有料老人ホーム



静かな別荘地にある、
緑に囲まれた施設

●類型/住宅型老人ホーム●所在地/北佐久郡軽井沢町大平 4108-15●交通/軽井沢駅 約 20km●事業開始年月日/平成 17 年 11 月●構造及び規模/木造 2 階建・準耐火建築物/7,116.4 m²●居室数及び居室面積/21 部屋/14.9 m²●入居定員/25 名●契約形態/利用後方式●利用料の支払い方式/月払い方式

月額(税込) **70,806 円**～

内訳/居室費・食費・運営管理費・暖房費など※介護サービス自己負担分・オムツ等日用品などは実費

軽井沢 住宅型有料老人ホーム

住宅型有料老人ホーム



リゾートタウンにある
静かで家庭的な施設

●類型/住宅型老人ホーム●所在地/北佐久郡軽井沢町大平 4108-15●交通/佐久平駅 約 16.6km●事業開始年月日/平成 16 年 10 月●構造及び規模/木造 2 階建/7,739.89 m²●居室数及び居室面積/92 部屋/7.29 m²●入居定員/92 名●契約形態/利用後方式●利用料の支払い方式/月払い方式

東小諸 住宅型有料老人ホーム

住宅型有料老人ホーム



民家改修型で、家庭的
な生活環境の施設

●類型/住宅型老人ホーム●所在地/小諸市大字加増 1-15-15●交通/小諸駅 約 1.9km●事業開始年月日/平成 16 年 4 月●構造及び規模/木造 2 階建/208.65 m²●居室数及び居室面積/9 部屋/7.29 m²●入居定員/9 名●契約形態/利用後方式●利用料の支払い方式/月払い方式

美里 住宅型有料老人ホーム

住宅型有料老人ホーム



民宿を改装した
樹々に囲まれた施設

●類型/住宅型老人ホーム●所在地/小諸市大字市北 1018-2●交通/美里駅 約 0.4km●事業開始年月日/平成 16 年 8 月●構造及び規模/木造 2 階建/223.23 m²●居室数及び居室面積/13 部屋/7.29 m²●入居定員/13 名●契約形態/利用後方式●利用料の支払い方式/月払い方式

お問合せ
資料請求

ことぶきの家
総合相談室

☎0120-811-772

受付：平日 8:00～17:00

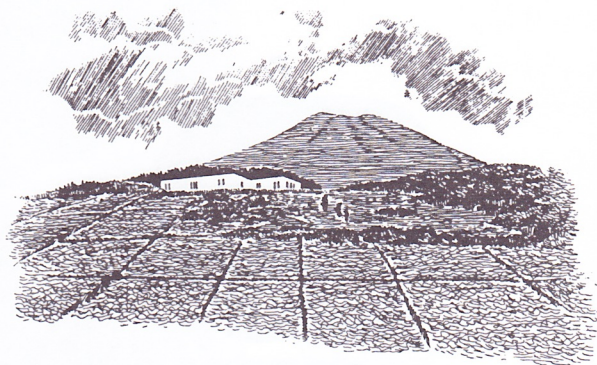
http://kotobuki-group.jp

詳細は HP をご覧下さい

ことぶきの家

株式会社 コトブキ

〒384-0083 長野県小諸市大字市 790-15
TEL: 0267-23-1510 FAX: 0267-22-3662



小 諸

マンスワイン株式会社
小諸ワイナリー

〒384 小諸市諸375

☎0267-22-6341 ご見学可



小諸そば

KOMORO・SOBA

Japanese Buckwheat Noodles
Since 1974

株式会社三ツ和 小諸そばカンパニー

本社 〒104-0033 東京都中央区新川 2-13-8 ☎03-3555-0092

旅
籠

ホ
テ
ル



旅 籠 つるやホテル

〒384-0026 長野県小諸市本町3-2-19
TEL0267-22-0041
FAX0267-22-2741

健康を贈る

山吹味噌の特長一

天然、自然の条件を何よりも尊重し
味噌に最適な原料を選び

昔ながらのみそ造りの長所を守り
量産にこだわらず、自然の味のみを
追求しています。

味噌づくり300有余年——

山吹味噌

信州味噌株式会社



りんご狩り 花摘み 信州 りんご資料館 プルーベリー狩り
カブト虫狩り つり堀 バーベキュー お食事 おみやげ産直

フリーダイヤル ☎0120-27-0881

〒384-0801 長野県小諸市甲4385
営業時間 9:00a.m.~5:00p.m.(季節により多少異なります)
TEL.0267-22-0881 FAX.0267-24-0258
<http://www.matsui-farm.co.jp/> apple@matsui-farm.co.jp

詳細はこちらから↑
Free Wi-Fi 完備



りんご巨峰直売・宅配発送
りんご狩り・信州特産みやげ品


大池りんご園

〒389-0512 長野県東御市滋野牧家
国道18号線沿い

本店: Tel. 0268-62-1866
直売所: Tel. 0268-62-2695
Fax. 0268-62-1866

中棚荘

「千曲川旅情の詩」の一節にある、千曲川
いざよふ波の岸近き宿にのぼりて
濁り酒濁れる飲みて…の岸近き宿は
中棚荘を詠ったものです。



島崎藤村

自社ワイナリー設立
—御牧ヶ原の台地から始まる物語—
ジオヒルズ・ワイナリー

千曲川旅情・文学の温泉宿

中棚荘

信州/小諸
島崎藤村の里
政府登録旅館

〒384-8558 長野県小諸市古城 中棚
TEL 0267-22-1511 FAX 0267-22-9191
<http://www.nakadanasou.com/>
E-mail: nakadana@komoro.co.jp

徳州 丁子庵



御宴会、ご予約承ります。

4月~11月 無休
12月~3月 火・水曜日 定休

〒384-0026 長野県小諸市本町2-1-3
TEL 0267-23-0820 FAX 0267-22-0499
<http://choujiya.jp>



優しい笑顔のおもてなし

布引温泉 こもろ

〒384-0071 長野県小諸市大久保 620-3
tel:0267-22-2288 fax:0267-22-2431
<http://nunohikionsen.info/>
e-mail info@nunohikionsen.info
運営 株式会社フードサービスシンワ
〒384-1105
長野県南佐久群小海町大字千代里 2392-1

「布引温泉こもろ」は、
「牛に引かれて善光寺に行ったおばあさん、
牛が観音様の化身だったと知り改心して
幸せに暮らしたとさ。」
そんな伝説の伝わる布引観音近くにあり、
お部屋からは噴煙を今でも上げている
浅間山が一望できます。

新たな教育システムの創造 松実学園グループ

松実高等学園 初等部・中等部・高等部

現在の教育システムでは対応困難な児童生徒の為の学園

(社) ISM 教育総合研究所

全国の児童・生徒が自転車事故の加害者となった場合の「こころの保険」

進学先一例

東京学芸大学・早稲田大学・東京理科大学・明治大学・青山学院大学・法政大学・学習院大学・駒沢大学・立命館大学

就職先一例

・東京消防庁ハイパーレスキュー隊
・アメリカ大使館・自衛隊・医療機関
・旅行会社・美容関係・情報関係

埼玉県教育委員会指定通信制高校技能連携校
まつみこうとうがくえん
松実高等学園
〒344-0067 埼玉県春日部市中央 1-55-15
東武線春日部駅西口から徒歩 5 分
☎0120-980-683
www.matsumi-gakuen.net 松実 検索

理事長 松井 石根
(南町出身)



乾杯をもっとおいしく。
★ SAPPORO

完璧な生ビールを。

大人の★生。
サッポロ生ビール
黒ラベル

飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は楽しく適量で。のんだあとはリサイクル。

www.sapporobeer.jp サッポロビール株式会社

ご予約は0267-23-1811まで

KOMORO

KOGEN GOLF CLUB

小諸高原ゴルフクラブ

おかげさまで30周年、名称が変わりました。

「小諸高原ゴルフコース」は「小諸高原ゴルフクラブ」に名称を変更し新たにオープンいたしました。

躍進する香坂グループ

株式会社 香 坂 建 設

信 濃 培 養 土 株 式 会 社

代表取締役 香坂 勝

株式会社 シンコー・エステート

代表取締役 香坂 勝

本社／小諸市甲92番地 ☎0267-22-1184（代）

信濃培養土(株) ☎0267-22-5439

株式会社 シンコー・エステート ☎0267-22-1184

「標高 2000m の絶景」

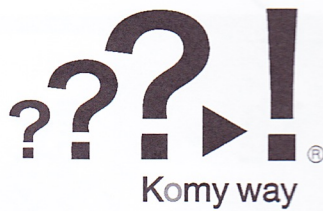
「朝は雲海 夜は満点の星空」

高峰高原ホテル

標高 2000m 天空の絶景宿

TEL.0267-25-3000

〒384-0041 長野県小諸市高峰高原 704
<http://www.takamine-kougen.co.jp>



Komy Story コミーは物語をつくる会社です (鏡味深心) (起承転結)

昔、「松下電器は何をつくっている会社ですか?」と聞かれ、松下幸之助は答えたそうです。

「うちは人をつくっている会社です」と。

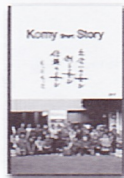
また、総理大臣の吉田茂は「総理、あなたはいつも何を食べていますか?」と聞かれ、

「人を喰っている」と答えたそうです。

ある時「コミーさんは何をつくっている会社ですか?」と聞かれ、偉大な二人を真似て答えました。

「物語をつくっている会社です」

「???」



Komy short Story
ができました。
お送りします (無料)。

KomyMirror。死角に気づけり

(鏡存共栄) (現業商品)

Fシリーズ フラットなのに広い視野。世界初の不思議な鏡!!



FFミラー 車出口



FFミラー 通路



FFミラー AIR

凸シリーズ 超軽量で丈夫なアクリル製。曲げても割れない!!



スーパーオーバル



ラミドーム



ラミ

Komy Qi 何故、何故、何故から改革へ

(侃侃諤諤) (無我夢中)

—— Komy Qi center が 川口にオープン ——



1. 商品開発の拠点
2. 異業種の情報交換の場
3. モノづくりの楽しさを体験できる場

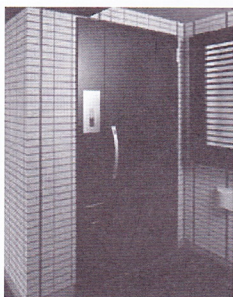
Komy

コミー株式会社 代表取締役 小宮山 栄 (東京小諸会常務理事)

〒332-0034 埼玉県川口市並木1-5-13 www.komy.jp mail@komy.co.jp

私たちは売上げの拡大よりも“出会いの喜び”“創る喜び”“信頼の喜び”を味わえる仕事を大切にしています。

三和シャッターはシャッター・ドア・パーティションなど 建材で“暮らし”を支えます。



マンションドア



トイレブース



自動ドア

三和グループ

〔国内〕

三和シャッター工業株式会社
昭和フロント株式会社
沖縄三和シャッター株式会社
三和タジマ株式会社
三和エクステリア新潟工場株式会社
ベニックス株式会社
三和システムウォール株式会社
昭和建産株式会社
田島メタルワーク株式会社
株式会社吉田製作所
株式会社メタルワーク関西
林工業株式会社
株式会社エース
三和電装エンジニアリング株式会社
三和ミタカ株式会社
株式会社リビング百十番ドットコム

〔海外〕

OVERHEAD DOOR CORPORATION (米国)
NOVOFERM GROUP (欧州)
上海宝産三和門業有限公司 (中国)
上海諾沃芬門業有限公司 (中国)
SANWA SHUTTER (H.K.) LTD. (香港)
安和金属工業股份有限公司 (台湾)
VINA-SANWA COMPANY LIABILITY LTD. (ベトナム)
DONGBANG NOVOFERM INC. (韓国) 他



三和シャッター工業株式会社

〒175-0081 東京都板橋区新河岸2-3-5

http://www.sanwa-ss.co.jp/

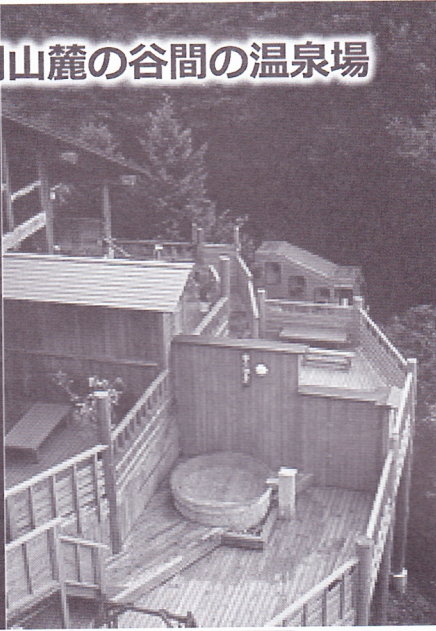
Tel. 03-3346-3011

元副社長 渡辺 静雄 (小諸市紺屋町) 東京小諸会会長

軽井沢から車で30分、800年の歴史ある浅間山麓の谷間の温泉場

菱野温泉郷

Hishino Onsen Spa



Hishino Onsen Spa Map

菱野温泉MAP



菱野温泉郷の自然派志向のお食事処

きのこの森

ふわり家

長野県小諸市菱平 533-1
Web <http://www.tokiwakan.com/fuwariya/>

☎0267-22-6665

登山電車で行く展望露天風呂「雲の助」
信州小諸 菱野温泉

常盤館

☎0267-22-0516

一人旅やカップルでのご利用に最適。

師館
YAKU
SHI
KAN
信州小諸 菱野温泉

Yakushi-kan
菱野温泉 薬師館

☎0267-22-0077

自立型サービス付き高齢者向け住宅

タウンコートのぞみ



浅間山麓の自然の中で
ゆったりと過ごす…

全てが徒歩圏内に揃う街で、大切なペットとともに。
「安心」・「健康」・「生きがい」をテーマに充実のセカンドライフを。

※写真はイメージです



アクティビティー

- ・カラオケルーム
- ・フィットネスコーナー
- ・バーベキューコーナー
- ・ドッグラン



充実した設備

- 全室に「バス」「キッチン」
- 「洗面」「トイレ」「収納」
- 「冷暖房エアコン」
- 「床暖房」付き



豊かな生活

日常品の買い物等、
利便性抜群！
(1キロ圏内でほぼ揃います)

小諸市御影新田に
平成30年 11月オープン！

家賃 ▶ 月額 64,000円(税別)～

施設の概要 ▶	事業主体	社会福祉法人のぞみ福祉会
	所在地	小諸市御影新田2569-1
	敷地面積	2996.72㎡(906.50坪)
	建物面積	3117.40㎡(943.01坪)
	構造	軽量鉄骨造2階建
	建築年月日	平成30年10月
	建物用途	サービス付き高齢者向け住宅
	総戸数	50戸
	居住の権利形態	建物賃貸借
	入居要件	単身高齢者世帯、高齢者＋同居人 (配偶者／60歳以上の親族)



のぞみグループ

お申し込み・お問い合わせ

TEL

0267-25-1161

E-mail : towncoat@nozomi-g.co.jp

<https://www.nozomi-g.co.jp/>

「タウンコートのぞみ」の詳細情報を掲載した無料パンフレットを配布中です。
詳しくは、お問い合わせください。

信州・小諸 東京駅から約80分
首都圏からのアクセス良好！

- 鉄道 東京駅から北陸新幹線・佐久平駅72分
佐久平駅より車で約5分
- お車 中部横断自動車道・佐久北ICより
車で約3分



社会福祉法人 のぞみ福祉会
長野県小諸市和田966-151